ıH:

八重唉ニナッタおほばなのえんれいさう

やまぐるま

ながばやまぐるま

小スモ ガ如 ヲ想ヒ起サシメル態ヲシテ居リ、果實ハやまぐるまノ樣ニ上ガ平ニナラズシテ丸ク突起シテ居ル葉ハ此圖 ノョリハ ルク葉柄 兩種ノ學名ハ左ノ通リ、 揚グ ル寫眞圖ノ左方ニ示スガ如ク普通ノやまぐるま一名とりもちのきデアル 長クテ特ニ 層細長クナル方ガ通例デアル是レハ全然やまぐるまヨリ區別スベキ種デながばやまぐるまト 基ノ方程紅ク葉身ハ長ク鋸齒ハ波狀デアッテやまぐるまノ様ニ丸クナク一見ゆづり ガ 同圖 ノ右方ニ

Trochodendron aralioides Siebold et Zuccarini, Flora Japonica, I. p. 83, tab. 40 (1838). 〔產地〕本島(信濃、下野以西〕、四國、九州、琉球、臺灣、

Trochodendron longifolium Maximowicz, Index Seminum Horti Petropolitani, 1865, p. 34.

(産地) 本島

おほばなのえんれいさうノ二重咲

樂デナイカ 地ヨイ程デアル、 日本ノえんれいさら中最モ立派ナ種類デ花ノ直徑ガ六七糎ヲ 異

ガアル

# 〇八重咲ニナッタおほばなのえんれいさう

理學博士

おほばなのえんれいさう (Trillium kamtschaticum Pall.) ハ 武 田

算シ三個ノ瓣片ハ雪白色デ且ツみやまえんれいさうニ於ケ (ッテ著シク開張スルカラ之ヲ見ルトキビキビシテ甚ダ ラ園藝植物 唯惜 イコトニハ東京アタリデハソノ栽培 ۲ テ眺 メルコト ハ鳥渡實行シ難イ ガ 心

力

クカ右

次第 ノ株

ヺ

誌上ニ掲ゲ

タラ今後野外

觀

察

サ

n

麥 力

考

IJ n

攵

幸

テ ,

カ

n

モ

1

ヲ デ

發

見

シ

n

位置

=

ァ

n 方

Ż.

=

ŀ

ッ

ァ

Æ

無 ヲ

益

ナ  $\nu$ 

= 方

ŀ

デ \tau

ハ 1

ナ

力

ラ ١

ゥ ナ ぇ

ŀ

考

= =

, シ

拙

文 斯 ハ

ヲ

草

ス

n

=

ŀ

ŀ

斯樣

けれ

=

力 グラ年

Ż

Ė

n

モ

,

カ夫共唯

時偶發ノ現象デア

'n

ヲ確

由

,

ナ

1

寔ニ

遺憾

r

n

ガ

テ誤

タ

ナ

Ź

デアラ

甚ダ 例デア 第デア スル、 サ 、農學 筈 面 Ż ラ 士松 故 首 ñ モ n 其標品 思 滅多 = 野孝雄君ガ甞テ札幌在學當時 ガ 唯 ささう ッ 場合 タ ニ花ノ構造ニ變化ガ起ラナイ様 個 ガ頃日 ۸ 花 類デ ₹/ デ 力 ハ ノミデアルガ花 夢片 同 存 `普通 在 君 ヵ゛ カラソ **≥**⁄ 瓣狀 ナ えい えん ラ 皇  $\bar{j}$ 標品ヲ送ラ 由 n おお 直徑約六糎ヲ算シ三 ッ シ タ譯 ほば おう テ 思 な デ デアル = フ 瓣片 v のえんれい ハ = 毛頭 タノヲ 力 ガ昨年 ノ内 ガ ヴナイ然 見 列 在 個 さうノ八 ラ n v 春美濃 瓣片 一ノ 蕚片 ŀ タ シ 更 如何 IJ 叉 Ξ ハ /重咲ノモ 吸り しょう , , 雄 缺 ソ = , 蘂 Æ 如 內方 列ニ ソ シノ外 ス 1 n 通 ナ 行 事. 刻 = / ヲ發見 列ル ゚ッ ッ ŋ , ・ナノ タ六個 タ ア Æ 一時同 雄蘂 n 7 ガ變 デ シ ラ見 , 大 Ø 地 高等農林學 瓣片 ŀ 形 = ド言フ話 興 シ n ト六個 味 ガ 刄 ŀ 無 E ガ ヲ 明 感ジ オ 1 ヲ 聞 校 方 ŀ 7 存在 N 敎 見 夕 1 ガ 次 テ 授 通 做 Π

/ 次第デア ₹/ テ ッ v ヲ 3/ 得

### こんにゃくノ消化問題ト其花 ア狀

即チ蒟蒻 (Amorphophallus Konjac K. Kocn.)ノ我日本ニ於ケル生産

緖

方 正; 資な

ハ己ニ今日ニ於テ

ハ年額

最壹千萬

貫ヲ上下シ價格モ年々ノ騰貴ニョリテ七―八百萬圓ヲ突破スル 七三三頁等)ニ出テ居ルガ肝腎ノ花ノ主要部ノ圖 ル、此植物ノ全形並ニ花部ノ輪廓ノ圖ハ成 一例 へバ草木 . . Ii ナ 1 一圖說、 ノデ遺憾ニ思テ居タガ本年三月畏友廣瀬 `草部卷十九第九圖版`、牧野 ノ情况デ農産物デハ中々重要 先生 プル地位 H 巨海 本 植 . 7 占 君 物 圖 メ テ居 溫 鑑

こんにゃくノ消化問題ト其花ノ狀

人間

タ 放

N

力 事

シ 官

イ ッ

力

間 5

々話題ニ上ボ

=

ŀ

デ蒟蒻ガ

ナゼ ノ砂ヲ除 砂

拂 1

ŀ

問

タ

(Typhonium

divaricatum Decne.)

デ

遭

ス

狀

花

附

コ

燄苞 7 N

ス

ヲ

取

種

- 惡臭ヲ

ッ

デ

うき

液 ナ ガ

何

Æ

力 位 = ガ 落 消

デ デ

n

此

點

ラ 촒 杯 ナ

云

フ

ŀ 粘 ィ ,

純

無垢

間

ハ蒟蒻ヲ食テモ素通リヲサ

笑話 、蒟蒻 ノ食

ガ ヲ 落

ア 抽

N F. 蒻 =

7 セ 化 同

元 ガ 來 カ

> 液 テ

ナンし v ナ 1

ト稱スル多糖體デ此物質ニ

11<sup>th</sup> ス 樣

砂

拂 題 ١Ì んげ

フ テ 畤 Æ

中 マ取

ソノ手デ腹中

'n Ŀ

K ナ Æ

ŀ jν 力 遇

Þ

ŀ

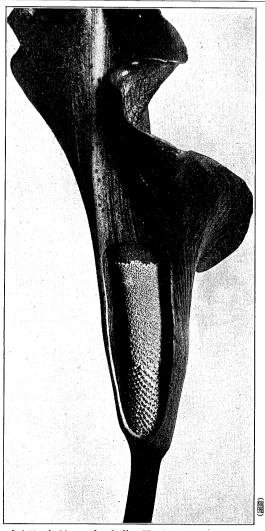
デ

開

花

シ

こんにゃくノ消化問題ト其花ノ狀



こんにゃく (Amorphophallus Konjac K. Koch.) ノ花 廣瀨巨海君ノ溫室ニテ開花セシモノ、佛燄苞ノ側面ヲ 切開シテ雌(下)雄(上)ノ兩花ヲ示ス

者

j

ヲ

撮 デ

花

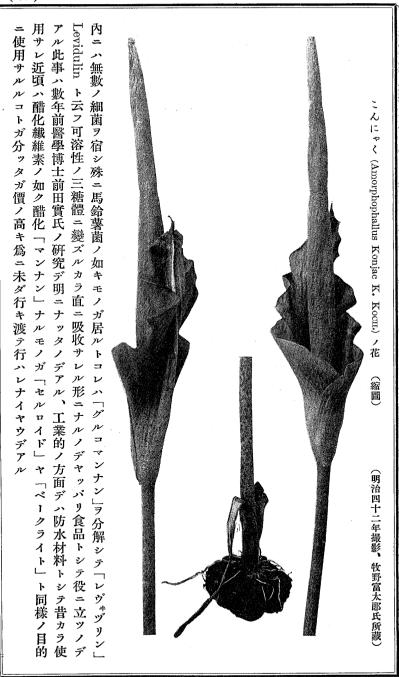
基

3

y

花 拜 ŀ テ 本 ガ 氣 要 得 テ 同 本 植 此佛 棒 居 誌 好 Þ 此 物

ルガ殆ドスベテノ人間ノ 唾液



こんにゃくノ消化問題ト其花ノ狀

### 〇むくむくごけ臺灣ノ阿里山ニモ産ス



むくむくごけ (Trichocolea tomentella Lindb.)

廣ク地球上ニ分布スト 要産シ各地ニ知ラル、 得ベキモノニアラザル 得ベキモノニアラザル 得ベキモノニアラザル 最南西限トシテ文獻ニ 最南西限トシテ文獻ニ 中国科用諦氏ガ報ゼラレ タル大隅ノ屋八島ナル タル大隅ノ屋八島ナル ごけアリテソノ學名ヲ杏類ノ一種ニむくむく ルレ士十大ニノルヲ

內

LARCH氏 Ħ 大 ŋ 灩 īF むくご 其 1テ相 = + 兾 Æ 四 樣 \_ 亦之 年 ゖ ナ 3 根 N ヲ v = 葉 金 バ ₹/ 產 Ħ 時 歐 テ 形 ス + 洲 其 Щ ヲ n 几 名 知 ヲ = H 中 テ n 知 緒 ハ 固 腹部ニ之ヲ ハ ヲ jν Ŧi 得 平 べ ŀ 正 原 和 ベ シ 資 及 名 シ 此 飥 Ŀ» 命 圌 峇 ガ 得 名 村 高 圖 Ø Щ 博 慣 w \_ + SI ハ = 產 例 里 H ハ 之 ŀ ス 瀕 本 Ш r w 則 V 葙 ヲ ŋ 物 於 ŀ = 從 あ 콟 1 テ をじろ 採 = ٤ 鑑 先 ŀ = 集 + ナ Æ サ <del>آ</del> ک 揭 jν = V 吉永虎 ガ Ш タ 我 Ċ サ n ĭ 國 蘚 V 馬氏 ごけ 岡 苔 = 於 村 1 テ 博 中 命 特 + = 名 通 稱 此 常 セ 精 ス 種 山 **≥**⁄ 緻 v 地 Æ 1. ナ 存 = モ n ス 產 ナ 元 圖 n 來 ij 7 ス r 本 N n w = 種 ヲ = 以 似 徵 原 テ ス タ 之 IJ 稱  $\nu$ 余 =

## 東京植物同好會野外採集ノ記事(第一回

東京植物同好會々員 篠崎 信四郎

郞 揰 植 n 天 會 天 頭 物 地 不 3 Ŀ 艒 藤 正 ッ ス 夫、 并 Ŧ 中 話 味 間 潔 者 市 = 宛 3/ ヲ , = 年 芳醇 悠 Æ テ ス 實 福  $\mathbf{H}$ + 極 ス n R 月 名 樂 樣 電 ラ 白 Ш = デ Æ 生 椒 Ï 無 闌 極 ア デ 滴 野 例 作 限 植 ヲ \* n ス 先 游 N H 會 テ 物 生 村 (I) 會 者 有 知 F. ٧. = :元新太郎 4 關 硘 富 ヲ 識 安 ٠, 芫 筀 H ħ, n 指 夫 ス 親 頭 , 涿 n N 導 v 第 竹 홾 = 次 者 聖 Z 周 本 ガ 事. 間 = Ø 人 乎、 友 聚 Ħ 日 ァ ガ 1 N 之、 八谷庸三 矅 Ш 結 經 積 限 n 併 網 我 H セ 來 ŋ 中 ラ 學 東 \_ 力 7 w 郎 村定 催 , 京 モ 人 V n 牧 吾 デ サ ッ 知 植 澤田 雄、 熊 r 識 野 物 V \tau ` 太 先 タ 7 n j 同 ۱۱ 武太郎、 ラ 郞 徒 沭 jν 丽 4 好 ン 神 會 , <u>ئ</u> ブ ガ フォー 奈川 伊 デ テ 植 無 N Þ 吹 ア 爲 本 物 員 Æ 高 木村雄四郎 縣 n = 會 ヲ ガ ŀ, **爬** 時 杉 此 手 大 ŀ 1 自 井 田 = ヲ 採 = ハ カ 思 上春 於 過 集 然 シ 、內清孝、 ラ金 テ 旅 ス テ = 攡 力 直 行 雄、 Æ  $\nu$ 漢ヲ 此 1 原 ナ 話 面 ハ 一會眞 田 小 才 デ 1 サ シ 野 矢野宗: 經 ッ 從 テ ハ V 誠 テ = ナ デ N , ッ 辺 言 森茂樹 意 サ ク テ Æ 子 義 此 豐 會 前 行 7 田 = 間 ガ 力 蒷 清 達 恰 確 政 ア ナ 同 = 於 籾 吉 水 ス N N + Æ = 藤 現 山 n , 植 ラ モ 太 採 デ 會 泰 松 間 非 物 代 郞 野 集 r員 味 情 自 秝 重 旅 ヲ w 同 ナ 身 太清 行 士 發 N ガ

東京植物同好會野外採集ノ記事

信

ДIJ

郎

諸

F,

1

明

村

文

H

富

北

村

潶 是 能 杉 カ ス 道 7 峿 ŀ 3/ まき、 數 祝 右 箭 疳 デ 傑 云 養 ナ n 7 n بز テ H 株 智 ュ 佃 渞 事. 育 枝 加 テ フ 梅 ガ = رر 居 振 事. 法 物 x + ヲ = ŀ ッ ٠, ~ 林 テ デ 善 n 綵 テ 丽 1) ダ + 倦 ヲ n ナ テ = 催 扂 堅 7 小 r ッ 引 ナ 淫 面 螧 3/ 涌 IJ ハ モ 層 テ 小 **≥**⁄ テ 杉 力 タ Н + " 蔬 Ħ 才 內 ッ 7 ナ 其 テ 林 此 菜 居 = 中 汳 テ # 早 3/ R 保 **ا** 牧 居 v 禾 1 淮 竹 = ¥ 梅 7 睽 所 Ø 集 中 栽 ێ 1 讗 .,, 思 2 藪 鎌 テ 玶 林 # 謂 ガ 家 前 老 タ 議 內 見 先 培 É 杉 偶 j = 1 倉 ŀ ハ 天 努 ż 路 ダ とくら 山 中 乞 4 F. 譽  $\mathbf{H}$ 然敢 V **≥**⁄ デ 吾 老 樜 ⋠ 足 = 行 110 ٠, , テ シ = テ 傍 飾 やぶ 其說 居 ラ 思 先 木 見 ガ Þ デ ク 小 キ 林 4 右 事 廛 4 Ã. H 4 坂 'n デ W 側 レ Ŀ 7 = 亩 Æ Ŧĵ` 7) 不 處 注 , Ŀ タ ヲ h ٧. 明 ヲ ٠, 付 \* = 搩 うじ IF 茂 行 答 連 搩 Ł 幹 才 ヶ 耳 = Ŧj" ガ Æ 槌 ッ Æ ナ ヲ な 能 間 血 多 飾 紅梅 72 シ ッ 3/ 泖 求 科 H テ 1 才 L ダ , ガ タ ク 張 唇 1 ナ 大 デ 꺠 H 力 原 乘 路 ソ ŋ 客 ヲ ì 部 メ 俥  $\sim$ 實 カ ラ 谿 樣 寂 7 会 ŋ タ 始 IJ 傍 V 硘 = ヲ 分 金 ち 矢 n ヲ 時 珋 見 枯 Ľ. v 涿 = , = 開 ナ 鄉 澤 テ n 拾 11 張 僅 採 ラ 物 代 = **シ ≥**⁄ オ v 見 前 テ 計 禮 力 町 Ŀ な ٧, ٧. 集 A N タ デ テ 掌 進 是 愛 朽 木 , 7 工 氣 ŀ 1 更  $\exists$ ス 野 豫 護 w  $\mp$ 分 思 ス = ン = 寸 n 備 チ HT ハ V n 垣 П 淮 生 定 ナ 身 植 ヲ ッ ガ 珍 ガ ガ 力 くす 接 ア 情 神 地 タ = ン ガ 涌 モ ヲ 物 ラ シ 力 苔蒸 デ 奈 ラ ハ r ij 凭 ヲ テ ッ ス ン ッ Æ シ 衣 金 綠 或 ダ 多 示 名 n ッ セ テ ク Ш 類 タ 澤 門 5 テ 其 太 專 テ 未 ナ ッ 1 **≥**⁄ Æ 縣 實  $\stackrel{-}{=}$ ぶら テ بخ 處 蒐 テ ガ 1 ヲ タ 力 亦 下 = イ 境 ん 居 尺 傍 集 ガ Ж ン 建 向 ラ = ラ 愛 か = 內 着 女 金 來 , テ 屋 位 ゥ Ł ラ 於 ぶ フ w = \_ 松 事. ح る 澤 , 意 イ Ø 國 = = ŀ ハ ケ 0 コ **୬**⁄ 六 ば テ 樹 ヲ 新 ŀ 旗 テ 伸 = 行 ハ イ n ヲ Ł 居 す 上 始 ζ, 本 浦 ダ 中 ピ **≥**⁄ 嬉 **≥**⁄ 注 ДŲ ャ 1 ガ 豫 粛 ッ 此 軒 食 赤 7 デ メ み シ 梅 1 ガ r 力。 鄉 猿 1 タ 提 ヲ ゥ 定 1 木 久 H キ Z ŀ 0 n Š 先發 九 實 公 名 計 灯 ナ ŀ 0 ヲ 杉 札 第 内 ハ 親亭 Ŕ るぐ 鎌 1 金 ナ シ ヲ 道 1 田 は ナ 君 ġ 前 着 眞 宗 產 濹 倉 ١,٣ ١,٠ 更 ナ , 力 ハ ۱ر 似 人 = デ キ 行 ラ 匠 ヲ 地 此 大 = A ケ 登 前 指 テ 藪 鎌 枯 V 町 テ 事 Þ ŀ 建 ŀ キ ッ す 制 家 居 變 倉 淮 最 Z ナ ナ ヲ ハ テ 木 ź, テ පු 濳 先 す ヲ ヲ ッ 中 更 ラ ッ K = = 金 布 續 生 雜 通 木 タ IJ デ ₹⁄ タ Æ 洞 ハ V 6 老 前 ア 札 足 賑 ヲ 種 ャ ズ タ 力 ケ デ 木 V ャ 道 金進ル待がウ w な 併 ヲ ナ

ノ三嬢、

更

Ξ

一變形

常

蒐

集家

小

眫

应

郞

氏

Æ

行

=

加

رر

.,

タ

東京植物同好會野外採集

熊太郎 5 景 此 文 ガ ヲ 一夫 着 Œ ア 轳 日 干 Ш ィ n 望 曇 笙 崎英太郎 馬 伊 五 テ 3/ 場 吹 年二月 ŋ ダ 濫 高 勝 篤 重 ガ 峻 チ 久 = \_ 乘 原 デ 喉 松岡 笛 ŕ 事 久 例 ij ヲ 內 鯞 濡 ッ 會 ŀ 忠 路 濤 Ø ۰ テ **≥**⁄ 見當 -|-佐 原 孝 ガ = テ 彌太郎 就 暖 四 澤野 恩 力 H 1 ラ デ Ш ナ タ ね 永 經 霜 第 ガ カ 太 叉 加 介 ŀ \* ヲ 郎 野 ヶ Н タ 採 澤 庄 ノ道 矅 部 此 ŋ 吾 Ħ Ħ H 籾 귋 Ш 野 ハ = 泰 大久 可 催 採 太 A #: 集會 郎 ナ サ ハ 金 保 IJ v 横尾 癋 澤 篠 啓 IJ ハ Ø) 神 事 崎 力 力 則 ラ 實 信 ッ 奈 だ 大津勤 復 四 老 Þ Ш 5 = 會 鄓 縣 於 F. 落合 横濱 逗子 1 ス テ 此 諸 jν 英 者 處 小 驛 方 ヲ デ 力 面 採 ゝ、 牧 誠 ラ = 終 ラ 女高 神 引 野 ŋ V 村 先武 久 還 ŀ タ 保 生 ナ 雄 寺 師 麓 j 田 四 ヲ シ ŋ = 木 金 郞 始 去 夜 卦 竹 村 藏 ッ = メ ィ 林 ス 文子 淸 テ タ 中 栗山 干 採 者 水 ッ = 藤 九 テ 集 Æ 名 大部分 廣 太 槇 r **≥**⁄ 崩 郎 颠 まが タ ッ 古 チ , タ 柳 清 デ Ż 逗 藏 r 3 町 沼 水

來うま H 逗子驛カ 田富貴子 亰. X 形 才 ナ r 掌 オ ħ ኑ מלל = ダ **>**/ Ō ラ づ 3 力 テ \_ \_ /ラ金澤 ラ 用 用 6 す ナ \_ n ŀ Ś ŋ ŀ ゥ ŀ Ŀ ŀ Æ ガ 光 ζ n ダ テ , ナ 云 Ŕ デ 街 **7**% フ ż サ ィ 道 な ~ ゥ ガ n あ 同 ŀ 七 |屬 云フ ラ デ 3 Ä. ガ \* ij ヲ 辿 支 ァ J. まるばうまの ŋ d' み n づ 那 名 ナ ガ 1) w ` Ŕ É 開 因 其 N 1 ッ ハ 木通 其實 實 側 周 田 ŀ v 名  $\mathbf{H}$ 君 云 ガ 1 小 4 ガ 君  $\vdash$ フ ハ ŀ あ 此 あ Ž Ť 馬 , 山 7 ハ 特 夢 别 び X デ H 7. = な 美 物 CX < 附 麓 莁 欠 男 ż 頭 h デ ŀ ヶ = 髮 略 7 Z) > ₹). ヲ ア n テ ラ べづら 湯 あ 根 鉛 づ サ お n 大切 6 凊 = v W ハ = M 似 青 ば デ 浸 ŀ 水 タ 0 哑 藤 , び 木 テ 5 ٧. シ 女 其 居 Ź 太郎 香 \_\\\ デ セ 粘 ァ ラ N 0 1 v 0 ŀ す 汁 稱 n 髮 IJ 君 n び 1 ラ話 漢薬 ヲ デ デ 1 7. **≥**⁄ ` 餔 洗 < 御 デ 陰 テ 呼 藥 ż = 菛 7 髮 ブ 方 ハ -デ ナ N ヲ 3 木 用 ŀ 洗 通 7 力 今 , あ n ナ = 事 デ <u>۱</u>, 供 ッ フ ŀ け N ŀ 支 デ び 力 Þ Æ ŀ 云 = セ 鹿 髮 那 ラ フ 緣 ラ 7 ŀ 面 見 兒 ガ , ガ N び v 島 サ 木 r ガ 白 ェ ガ Þ な 邊 ラ 通 7 あ 吾 h n イ N 美 支 サ デ N ŀ H ₽. Z) > ハ 男 うら 那 謂 ラ ク 我 び ٠, ハ 此 或 ナ 力 ŀ ŀ V ラ 云 皮 梳 ~ デ V v 其普 名 ヲ チ ァ ヅ 乾 ラ 入 テ ス あ 居 稱 美 ヺ H **≥**⁄ v w 通 テ 女 テ 毛 び 元 其 品 洗 ያን び 種 來 果 ガ 之 云 髮 **シ** ラ ゔ あ 實 元

君 ス タ Ŀ だ 貢 取 弄 害 ガ ij 形 1. H タ H Þ 圶 相 Ř 힔 Ŧ ŋ R 3  $\mathbf{H}$ Æ ヲ 太 Æ Z) 違 太古 7 , 荻 チ 歯 ァ ナ 藪 ク 庯 太 梁園 快快 デ 心 车 チ ナ J. 來 力 ほそばかな w ヲ 3/ デ Pallavicinie 光 洮 r ラ ł ナ ィ 赤 1 ŀ 7 ŀ 俫 相 喜 百 團 N タ n ŀ IJ 妝 び ۴ 冒 野 IJ 護 若 凮 ナ 神 な ヲ 年 n **≥**⁄ 章 肥 朓 秘 テ耻 沪 Ä 名 シ サ .,, 武 牛 = 心 縍 盲 j 古 Ď 牟 工 × ヲ ズ テ ィ Z) lit 自 刹 數 タ テ Ď 居 年 力 = 杉 ガ 33 づ 定 負 デ ァ 此 歋 ハ 臽 び シ ハ 間 說 7 ıν 崩 天台 置 赤 ŋ 亭 葙 何 力 大 ス , 渞 ス ノ rt 種 n の ラ 木 事 N ŀ Þ + カ デ ナ サ 1 7, ŀ /ヌ處 事. 慨 こぎりしだ、 セ ソ رر 治岩 ヌ r ガ w v 豆 デ 湰 ッ 谷 ۱۱۱۰ ナ ガ ア テ w Z Z 坂 v n ヲ 屬 今 杉 決 = シ ア h 小 ラ ガ n 居 ニ出ヅ濕 = 21<sup>th</sup> 111 密着 Ĺ 立 ス 嚴 = 此 ラ 力 サ jν ソ Ø n タ テ ラ 大 無 去 齒 ľŦ + 讆 ." Z ッ 21º ₹⁄ 丰 シ 其 居 杂 谿 テ 小 木 ŋ ζ テ ŀ Ŋ ラ Þ テ完全ナ 十文字 策 難 園 射光 晔 メ 水 砂 往 Z N ガ 酷 = Z) レ 實 岩 着 君 現 ヲ 伐 暑 1 (Fern garden) 肼 à づ 此 ハ 諡 思 n 大 珍 仹 ラ ŀ 4 ヲ ヶ 7/2 植 南 砂砂 奇 職 ガ ガ しだナド能 庭 瀐 石 づら セッ v ハ 五 Ø 物 'n 岩岩 チ 澤 見 樣 ネ ス 7 園 ₹ 切 味 lic デ モ 産 牧 舞 場 N n 弱 水 n ナ , 知 ハ ノヲ採 ゲデア ガ 形 野 ィ 有 方 亦 Ŀ イ Ŧ b ナ = 過 菌 先 力 毋 其 部 光 充 捆 おりづる ガ ィ 樣 'n ニ就イテ全ク無智ノ者モ此處ニ 生 ヌ ゥ U ク生育シテ居ル殊 親 ギ テ 古 7 n پ N 標 谷間 神 ゥ 特 ŀ Æ 木 如 テ ラ 來 イ V = 弱 本 貇 武 事 杉 名 るよ ナ ク v = ハ 困 寺 j 1 + 何 栐 意 ァ = 目 = Þ デ な ッタ腐植質ニ富メル厚キ褥ニ だ、 ラ 此 H 處 叢 = 石 ز 立 ァ کے Æ 間 光 垄 下 Þ 到 N 山 = シ , ッ N B 0 携 へら 懐 オ 据 道 3 柄 ŋ 此 ŀ ス デ É 233 Æ 程 デ テ 美 n = 7 , Þ な ハ ハ ハ 實 リ様 來 中 しだナ ス 差 こりゃうめ あ 3 n ダ 類 キ ヤラ をき 實 行 食 **≥**⁄ ッ シ 力 シ 濕 斯 テ 7 ス ŧ 力 カ 道 ラ 條 タ デ 當 **ا** 見 ラ 歡 自 ツ穏 力 ノ ` ソ Z) 右 ハ 木 営ラ 寺 待 然 茂リ苔類 流 照葉 進 n ッ v 0 大 材 L 力 Þ ン デ ح 臣 v 茂レル ヲ 見 藥 齒 だ ナ 又 デ z テ = 7 ŀ 紙 杂園 ř 道 類 'n 曲 ŋ 師 反 街 云 タ ね 1 氣流 y か 如 テ 射 フ Z b , 折 如 繁茂 菓子 Ì タ 來 生 分 づら ねか モ þ シ Ŧ " 幹 5 叉 冬 ダ ヲ 亦 育 ŀ 砂 具 テ y 薄 Ŕ 砂 快 サ 事 本 滅 0 ヲ 合 5 右 ŀ づら 齒 伊 奠 ブ 適 岩 h す 右 氣 似 め 3 削 ヌ デ = ィ 分

タ上 テ 揷 糸 が 吹 金鈴 ガ iv 飽 'n 寶庫 此 チ É むくろじィ實ヲ振 細 喪 テ 2 ぜんまい、 谷 鳴 來 毛ノ ~ 組 デ ラ 如 タ其實ヲ拾 ほるとの 不師堂裏 ٠, アル 更 デ採集シ アル シ キ ハ 緩々 · テ喜 實ヲ 此 前 處ニ ŀ ふもとしだ、 ノ谷ョ 雹 變種 ン 或 きへ 步 テ此谷ヲ出デ鐵路ヲ横ギリ横須賀街道ヲ右ニ逗子ニ向ッテ進ンダ一番後トノ牧野 デ居ッタ、 腐 テ喜ンダ P 多キいづせんりゃうニ ヲ エデアル 霰 ŋ 木 落 抱一 運ビ先生 リハー層優 ŀ = 降ラ 當 ス ノハ小供 ŀ 延 アマル大木デ ラ込 歸リニ へらしだ、 生 セ テ タ會員 ハ途中農家 地 3 抱 藏 v タ自然 ハ登 ハバカ 餘 堂 形 ガ くりはらん、 ハリデ 、大木ニま 右手裏 喜ン 珍ラ ッタ道ノ 菌 ハ小サキ蕾ヲ澤山着ケテ居タ又たにじゃかうさうノ枯レタから かノ前 ニ ノ齒朶園デりゃうめんしだガー面廣ク生イ ヲ デ ハナイ四十面 **≥**⁄ 搩 拾フコト 山 1 サ 一切リ 反對側ノ谷ニ降リタからえふざんガヨ しらノ如 力 V 中 ラ タ 倒サ おりづるしだ、ほうびしだ等盛ニ繁茂シ確カニ是等 保護 Ė ガ 拾 進 涿 レテアッタざくろノ幹 , フ n ミふうたうか **≥**⁄ コト、 タイ 男ガ其實デ笛ヲ作ッテ 攀ヂ登リ三丈餘 發見 石門ニ サ 玆 v ズ 於テカ づら、 澤山 硅 念 ナ 1 ガ じゅず 新 高 V ッ 1 はたば Ξ キ テ · 直徑四· ٤° 木庄大盡 枝 茂リ其間ニベ 1 á タ ا ا ا 乘 ク育チ數十 のき こガ生ズ 4 リル盛 位 ナ 君 ヒョ 黃 ŀ, 金播 Æ Ħ 搖 ヲ jν うら 先生 株並ン 採 ガ ŀ IJ ヲ 無邪 是 + 動 y 見 ヲ

ナ 力 加 ハ ヲ

花

### 枝 片 葉 (其十六)

´ざくろノ材

メッ

タニ

得ラレヌ

カラトテ之ヲ求メ逗子驛前ノ運送屋ニ賴ンデ自宅

へ送ラ

タ

ガ

植

V

デ

取

野 富 太 郞

牧

L. japonica Miq. 、唉々花冠 アを放 部 ト稱シ本邦唯一ノ同屬代表者デアル此草ノ本名ハきんぎょさう(花形カラノ見立テ)デアルガ 謂 ガ假面狀ヲ呈シ花筒 ١, 屯 |崩ノ 類 デハナイ是 ノ下部ニ下ヲ指シ v ハ海邊砂場ニ生ズ タ距 ガア jν テ ごまのはぐさ科 Linaria 屬ノ標 ノ宿根草 徴 ラ表 本 シ デ テ居 7 ッ テ N , 學名ヲ 夏 花

斷 枝 片 (其十六

誤

海 蘭 ジノ義 草 デうみらんガうんらん Ľ ŀ ナ ヲ きん ッ タノデア ぎょ ささ w 海 ŀ ハ 稱 海 ス 野 N ナ 力 ŀ. ラ 1 此 樣 方 = ハ うん 能 7 其 ら 畜 Ĺ 便 名 デ ź デ h 呼 ŀ ン ナ デ 居 N 1 n デ Š 7 んら N Ĺ ŀ

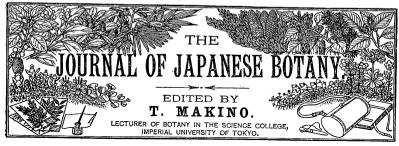
多分此 草 \_ 似合 太 ゃうもんかづら キ ハ 棍 ナイ大紫花 棒狀 花冠 シノ意義 ラ被 ヲ 開 + ノ渡邊綱 マ其花筒 Meehania urticaefolia ガ羅 太ク長ク長サ 生 門 .デ切 蚁 ガ ッ Ĺ タ 鬼 Makino. 寸 , 太 餘 ŀ モ 腕 7 ノ學 = w 此 見 草 立 名 テ ヲ ヲ 有 Ś 之 ヲ Ū ス サ Þ n ゥ 5 曆 呼 Ŕ 形 科 ン h んかづら ダ 1 蔓狀宿 デ ハ ŕ ナ 名 根草 イ ケ 力 タ ŀ ハ 春 思 1 其 ハ

紀念物 井 3/ テ 君 テ Á 崩 ガ # 右 Ħ 保 井存 君 會 前 協 關 評 會 L デ 議 係 Ž 5 谿 字 昌 表 , 評 ナ デ Æ **≥**⁄ 1 7 私 議 タ 事 ッ 員 東 1 頭 タ タ 京 Ŧ · 天 下 天然紀 毛 1 n É ン 中 井 ダ = = 釋 光 念物 力 ٠, 大太郎 明 ラ 閃 **≥** ŀ カ 保 君 テ ズ ン 置 É ダ カ ラ 洣 井 君御 惑 は ヲ ヲ ス 目 が 同 ル 標 É 多 君 ラ 數 = = 及 ス 下 ボ n サ 士 問 v シ J 感想 誠 題 タ ガ = = 相 ハ 元 毛 來 濟 論 頭 私 ~ 議 ヌ Æ ガ = 次 觸 7 關 第 , V ₹/ デア 文 ナ テ ヺ 力 內 草 n ッ 務 玆 タ ス 省 n = 時 7 折 史 1 惡 白 蹟 論 井 名 7 偶 君 勝 ~ 天 決 白 對 然

其 n 序 事. ガ ャ 言 其 ゥ = 恭 ナ 部 有 旬 カ ٠, シ ヺ 3/ 衆 テ 世 獨 デ 頂 P 占 Ÿ 1 重 + , 3/ 期 シ テ A 待 居 ィ ŀ ゥ ッ ス n = 副 結 N ダ ŀ 所 果 = ŀ ٧. デ デ 思 力 v ァ ŋ 7 ン jν 天 事 n 11/2 第二 /然紀 カ Ŧ 切 ラ 白 念物 現 并 者 望 舣 君 Ξ ス 聽 保 n ヲ ハ 是 洞 植 存 テ 見 察 物 會 v jv シ 方 ハ 备 應 面 ガ 植 緣 物 デ ョ = 萬 ィ 部 ヲ モ 排 元 是 X ガ 老株 斥 振 v 言 シ ハ ハ 畢 大 デ愛 ナ ハ 竟 = 1 ン 當局 憎潑 ŀ 欲 偏 刺 ٧. 頗 事. ス = Ø 獻 實 ナ n iv 所 ŋ 適 デ 何 材 1 シ ~ 國 事 Æ ガ N , 家 = 網 デ 羅 隱 デ , Æ ァ 爲 公 シ 居 明 テ 什 n ナ 其 切 事 牧 刷 實 ŋ ヲ 野 炒 新 デ **≥**⁄ 從 數 ヲ ァ 圖 テ 1

前號 Œ  $\bigcirc\bigcirc$ 繪繪 は く津 さ村 ん重 い含 ち民 げ肖 ク像 文下 一行 花時、Dysûha、 Dyûsha \ '' \ \ 花時 Ξ (72)頁、 八行 廣湯 東 廣力 東

### Published Monthly.



Vol. III.

No. 4.

April 30, 1926.

CONTLINIS.	
Tomitarô Makino, A Contribution to the Knowledge of the Flora of	PAGE
Japan. (Continued from p. 12.)	13
ARTICLES IN JAPANESE:—	
Portraits of Japanese Botanists: Prof. Kingo Miyabe Frontis	nice
Luium durdium Lindl Photo-Copper-F	Plata
Amorphophallus Konjac K. Koch	lato
Tomitaro Makino, On the Tokyo Botanical Club. (Illust).	(73)
Yasuhiko Asahina, The Raiken's Soliloquy on Botanical Science. III.	,
(111ust.)	(77)
Mitsutaro Shirai, Catalpa ovata G. Don, including Betula ulmifolia Sieh.	•
et Zucc., the Latter used in Ancient Times for making Bows. (Illust.)	(78)
Seiichi Kawamura, Polyporus sulphureus Fr. used as a Tinder. (Illust.)	(82)
Takenoshin Nakai, Trochodendron aralioides Sieb. et Zucc. and T. longi-	(0_)
folium Maxim. (Illust.)	(85)
Hisayoshi Takeda, The Double-petaled Flower of Trillium kamtschaticum	
Pall. (Illust.)	(86)
Masasuke Ogata, On the Problem of the Digestion of, and Details of	
the Floral Portion of Amorphophallus Konjac K. Koch. (Illust.)	(87)
Kiyotaka Hisauchi, Trichocolea tomentella Lindb. from Mt. Arisan, For-	(0.)
mosa. (Illust.)	(90)
Shinshirô Shinozaki, An Account of the Botanical Excursion by the	(00)
Members of the Tôkyô Botanical Club. I	(91)
Tomitarô Makino, Miscellaneous Notes on Plants, XVI	(95)
Tomitarô Makino. An Elucidation and Corrections in the Last Number	(00)

Published by the Tsumura Laboratory, No. 505, Kamimeguro, **Tôkyô, Japan.** 

> Subscription-Price 7 Yen per Volume (12 Nos.), Post Free, to Foreign Countries.